

## 若手教員の学校では

### 中学校

校内の様々な取組推進、できることからやってみる

- ① **日課表の見直し** → 生徒放課を30分早めた。
- ② 実力テストの業者採点 → **採点業務の軽減**
- ③ 4月 **職員会資料をすべてPDF化**し、タブレットで管理する。  
(来年度から実施予定)
- ④ 夏の三者 **面談を一学期中**に行う → 夏休み中の年休取得促進

できることからやってみる

### 高校

- ① **電話対応時間の設定**と留守番電話への移行
- ② **退勤時刻に音楽**が流れる。
- ③ 県スポーツ協会スポーツコーディネータ事業により、部活へ **コーチを招聘**している。

### 高校

若手が力強く推進

- 「Classi」や「Microsoft Teams」を活用
- ・ 保護者や生徒に対する連絡事項
  - ・ 授業評価、アンケート
  - ・ 教材の提供



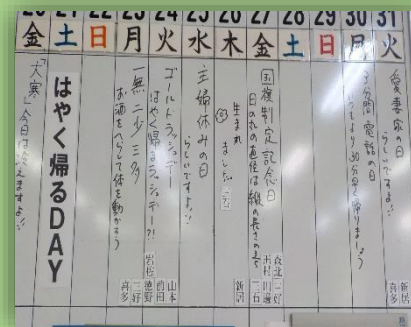
### 小学校

メンター制度の活用

- ① **日課表が変更され**、これまで5分休みだったところが10分休みになった。そのことにより、児童にも教職員にも余裕が生まれ、授業の準備等がしやすくなった。
- ② **ペーパーレス化に努め**、掲示板で先生方に見ていただけるので、コピーして配る手間を省くことができている。また、保護者への連絡もメール連絡網を用いており、緊急の際も一人ずつ電話をせず、一斉に配信している。

### 小学校

『はやく帰るDAY』



早く退勤すると決めた日は、職員室の月行事予定表に自分の名前を貼っている。働き方改革推進チームの研修で、既にこの取組をしている学校の話聞き、本校でも実践した。この取組を始めたことで、**職員全員が退勤時刻に意識**をもち、月平均10時間程度、残業時間の削減ができた。

授業づくりやクラス運営への不安を軽減するために  
いつでも相談できる環境、自信がもてる指導体制を！

